



# 命と個性が大事にされて はじめて光輝くもの

魂・心・体を三位一体で治療する「ZENホメオパシー」を確立した由井寅子さん。体の元となる食について農業生産法人日本豊受自然農(株)代表として実践しているのは、安心安全な農作物づくりでした。

文◎ 由井寅子(ホメオパシー研究家)

ホメオパスとして30年にわたって人々を治療してきました。その経験が、私を農業へと駆り立てました。なぜなら、健康の大元は食べ物にあったからです。その中で私がとても大事にしたことが、滋味でした。

今の日本の多くの作物は戦後70年間の慣行農業(農業・化学肥料を使う農業)によって、滋味がなくなり、それを補うべくいろいろな化学調味料や添加物で味付けされ、おおよそ食べ物とは言えないほどの毒性をもつ食品が増えています。この食の現状を見たとき、早く元に戻さねば心も体も弱り、日本は亡国になっていくと思いました。

私たち豊受自然農のモットーは、安心安全(農業・化学肥料を使わない。固定種・在来種の種を使う)です。手で草を必要な分だけとり、刈った草は土壌菌の工サになり、畑の保水となる草の根はそのまま土の中にあります。こうして固定種、在来種の種を自然農で育てますと、まず香高いものとなり、香高いものは、栄養もふんだんにあることが知られています。

温室育ちや水耕栽培ではありませんので、植物繊維もしっかりし、その繊維が人間の腸内細菌の工サとなり、それによって栄養吸収や免疫力も高まります。一方、F1の種を慣行農業で育てますと、形が均一で、青々と美し

い作物となりますが、香も少なく栄養価も劣ります。

「人は神の分霊(わけみたま)であり、神と同じ魂の願い(真心)全てを愛する・受け入れる心」をもっているのだから、間違った心(自分や相手を否定する心)で魂を傷つけることにはいけません。魂が清浄(健全な理想)であるとき、体も清浄(健康)であり、その願いは必ず叶う」

このような言葉が神道の神詞にあります。この体は魂の乗り舟であり、魂の願いを叶えるためにあるのです。日照りの草取りでは少しのそよ風でもありがたいと思え、寒さの中で太陽の光がありがたく思え、暑さ寒さに文句を言わず育ってくれる野菜たちに自ずと感謝が湧いてきます。私たちが作る作物には、栄養と香と真心がギュッと詰まっています。安心安全で栄養価の高いものを、そして、体と心が喜ぶものを作りたい。人々を幸せにしたい。この私の魂の願いを叶えるため、この体を使って一生懸命働いています。

幸せと思える心を養うためにも、食べ物からくる「滋味」は欠かせません。それは、それぞれの作物が持つ個性が生かされ、命が大事にされてはじめて滋味が光輝くのです。